

## 添付②

令和3年1月7日

東京都議会自由民主党  
幹事長 山崎 一輝 殿

東京小売酒販組合政治連盟  
会 長 吉田 精孝

### 【緊 急】緊急事態宣言の発出に伴い 酒類小売業者等に対する協力金の支給を求める要望書

新型コロナウイルス感染症は、地域経済を支えるあらゆる事業者にかつて無いほどの深刻な影響を及ぼしております。感染拡大が今もなお続いている現在の状況は、歯を食いしばって終息を待つ小規模事業者にとって更なる追い打ちとなり、従業員の雇用の維持や経営の存続など、様々な不安を抱えたまま新たな年を迎えた組合員も少なくありません。

特に東京をはじめ1都3県については、緊急事態宣言に基づく飲食店への更なる時短営業要請に加え、午後8時以降の不要不急の外出自粛要請もあり、これまで飲食を伴う会合の自粛や規模縮小により、飲食店との取引が激減してきた小売酒販店にとって、想像を超えるダメージが生じることは間違いありません。さらに料飲店等とは異なり、協力金の対象外の業種であるため、「廃業を考える」という声も多く聞かれるほど深刻な状況になっております。また、「酒類の提供自粛」、「飲酒を伴う会食が感染拡大につながる」などの報道が連日続き、「お酒を飲むこと自体が悪い」といったイメージが浸透していることも大変憂慮しております。

当組合は、酒類業組合法に基づき設立された公益的法人として酒税の確保や飲酒環境の整備に努めてまいりました。また、傘下組合員はそれぞれ地域の活性化のために地道に活動を続けております。

つきましては、緊急事態宣言という危機的な状況に鑑み、小売酒販店はもとより飲食店に商品を納入する関連業者に対し、協力金支給等の支援策を講じていただきますよう強くお願い申し上げます。

#### 記

- 1 午後8時までの営業時間短縮に応じた料飲店に酒類等を納入している小売酒販店及び関連業種に対しても、飲食店と同様の協力金を支給するよう要望します。

以上